

循環型社会の形成推進に積極的に参画し、 環境調和型経営を目指します。

21世紀を目前にして、時代は歴史的転換期を迎え、経済・社会構造はダイナミックに変化しています。今、まさに循環型社会の幕開けに際し、「循環型社会の形成」に向けて企業の積極的な対応が求められているところです。

環境の変化に対していち早く適応して自らを進化させたものだけが生き残るという「適者生存」の現実を今はっきりと直視しなければなりません。そのためには、意識改革を図り社会の変革を先取りするように会社を進化させることが必要と考えています。

当社は、より環境に配慮した生産活動を推進することはもとより、循環型社会の形成推進のため、社会・市場ニーズに加え、環境に充分配慮した製品の開発に努めて顧客満足度(CS)の向上を図り、世界に通用する“Kawasaki”ブランドの価値をさらに高めてまいり所存です。

1999年度は「第2次(1997～1999年度)環境保全活動基本計画」の最終年度であり、その基本方針は「ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムの構築と認証取得を推進し、当社の環境保全活動の基盤づくりをする」ことであり

ました。ISO14001認証取得活動は、現在、9事業所が取得し、2001年度末までに主な事業部門はすべて認証取得を完了する予定です。

また、昨年4月には、本社組織に地球環境部を新設し、8月に「環境憲章」を制定するなど「環境調和型経営」の実現に向けて、環境マネジメントの向上に努めてまいりました。

2000年度からは「第3次(2000～2002年度)環境保全活動基本計画」がスタートします。基本方針は「循環型社会の形成推進に積極的に参画し、より充実した環境調和型経営を目指す」ことを掲げ、グリーン調達や環境会計などの導入も視野に入れながら環境保全活動の一層の充実を図ってまいります。

今後とも当社は、環境保全活動の向上を図るとともに、その状況について環境報告書やインターネットを通じて積極的に情報開示を行っていく所存ですので、当社の企業姿勢をご理解の上、忌憚のないご意見、ご指摘をいただければ幸いです。

2000年9月



取締役社長 田崎 雅 元